

## 2018 年 GGN 審査 フィードバック & 記者会見

2018 年 8 月 9 日 (木) 17:15~18:00

城崎招月庭にて

### 【リバス審査員コメント】

山陰海岸ユネスコグローバルジオパーク（以下、山陰海岸 UGGp）のチームの皆さんに温かい歓迎をいただき、見せていただいた高いプロ意識にお礼を申し上げたい。

審査の間たくさんの優良事例を確認することができました。優れたインフラ、ユニークで美しい景色、付け加えて皆様の強い決意、情熱を、ジオパークのチームの皆さんから感じることができました。たくさんの象徴的な場所を訪問する機会に恵まれました。鳥取砂丘、国際的にも価値のある玄武洞公園やコウノトリの郷公園、それに、非常に活発な活動が続ける地元のコミュニティの姿を見ることができました。彼らが非常に歴史に誇りを持っていることも感じることができました。

UGGp の認定は 4 年間です。4 年ごとの再認定こそがジオパークが運営されるうえで、高いクオリティを保つために必須なプロセスです。グローバルジオパークネットワーク（以下、GGN）は常に拡大を続けています。私たちの価値観を共有し合える新たな地域がネットワークに加わって数が増えています。そして世界的に地元の地域をプロモーションする活動がなされています。

UGGp というのは、ユネスコの中でも最も活発で最も成功しているイニシアティブの 1 つといえます。ジオパークのサイト内に住むコミュニティの人たちに多くの利益をもたらされる活動です。ジオパークの世界の中では常に上を目指すということが求められます。常にどこか改善の余地があるという考え方をしています。非常に優れたジオパークというのは、さらに難しい責任、さらに強い要求に答える責任があります。ほかのジオパークに対してよい事例となる必要があります。

私たちからは、山陰海岸 UGGp に是非このような責任あるジオパークになっていただきたいとお願いしたい。

今回の再認定のミッションを通じて提案があります。

① 山陰海岸 UGGp が世界レベル、GGN で、より活発に活動することを提案したいと思います。

提案のひとつとして、JGN の中にワーキンググループを設立し「ユネスコの認定を受けるといことがいかに目に見える形で地域に利益をもたらすか」ということについて話し合う場をつくって欲しいと思います。この提案は、山陰海岸 UGGp の運営の質の改善にもつながると思います。それだけではなくて、世界のほかのジオパークに対して山陰海岸 UGGp で行われている事例を共有する機会にもなると思います。

② あまるべのクリスタルタワーができました。建物自体は非常に人気があり、多くの来客

を呼び込めることは理解していますが、現地の状況についてより解釈を提供するパネルのようなものを掲示すればよりよくなるのではないかと思います。

- ③ 山陰海岸ユネスコ世界ジオパークが地元の企業、産業や NPO に対して支援を行っているなど素晴らしい面があることをいくつも学びました。この姿勢は今後も継続して行ってほしいと思います。
- ④ 玄武洞公園の中で人々の意識を向上させるような工夫ができると思う。学識的レベルでもう少し人々に知識を与えるような情報提供をされるとよいと思います。玄武洞の国際的価値を高めることができると思います。

最後になりますが、山陰海岸 UGGp が行われている皆さんの素晴らしい活動の数々に感謝申し上げますとともに、それが世界のほかのグローバルファミリーの良い例になっていることにお礼を申し上げます。

#### 【ルー審査員コメント】

今回、私が山陰海岸ユネスコジオパークに訪問できましたことをとても喜んでおります。まずお礼申し上げたいのは、皆様方の本当に素晴らしいおもてなしです。私とそして隣におりますパブロは、この4日間とても素晴らしい経験をさせていただきました。再認定は、GGNの一番重要な機能で、それは我々の経験、知識を共有する、交流するという任務です。ここに参りましたのは、皆様の状況をチェックして、皆様のジオパークがさらに良くなることを我々の経験からご提案することが主な目的で、皆様の問題を指摘することが目的ではございません。今回参りまして、我々はみなさんとの交流を深め、そして意見の交換をするということが重要であると信じております。山陰海岸ジオパークのチームの皆様方、我々の今回の任務がとてもスムーズに進みましたこと、心から御礼申し上げます。

過去4年間の間に、山陰海岸 UGGp はとても大きな努力をなさいました。それは皆様方のチームが素晴らしいチームだからです。視察を通しまして、皆様方が、科学を広めることに、そして環境教育、環境保護、そしていろんな見える形でビジビリティを高めていらっしゃる、コミュニティや学校を巻き込んでその協力を得ていることを目にして、本当に感激いたしました。そして地方自治体の皆様方がジオパークに多大なる支援をなされていることに関しても、本当に感銘を受けました。そして目にした全ての努力、皆様の働きから私自身もたくさんものを学ばさせていただきました。

山陰海岸 UGGp はとても価値のある地質学的遺産を抱えています。そしてこれらの遺産が非常にうまく保護されています。このグローバルジオパークの皆様が今までのやり方を維持し、そしてこれから将来もさらに努力を継続して、さらに改善されますことを願っています。

山陰海岸 UGGp は、素晴らしい活動、活躍をなさっています。しかしながら、次に申します私からのご提案は、現状をさらに良くすることが出来るのではないかと考えておりま

す。

- ① 他の国々ともっと色々なものを共有していただきたい。例えば、国際的な交流、出版物、そしてPR活動を通じて、他の世界のジオパークともっと共有を進めていただきたい。
- ② パンフレットや冊子に中国語と英語の併記をしていただきたい。特に公式のウェブサイトに中国語の訳が付いていたら、もっと中国人の観光客が来やすくなるのではないかと考えております。
- ③ 世界中の他のジオパークとの姉妹パーク提携をもっと結んでいただきたい。
- ④ 鳥取砂丘への提案は、過去の気候変動に関するいろんな資料を集めていただきたい。
- ⑤ いろんな景観、地域、景勝地があります。その間の行き方、地図や、交通のアクセスに関する情報をもっとクリアに準備していただけたらと思います。

最後になりますけども、ぜひ、私の所属するヤングダンジャン UGGp にお越しくださることを望んでいます。

#### 【中貝会長挨拶】

パブロ・リバスさん、ルー・チン・フェイさんのお二人の審査員の4日間の精力的な活動に心からの敬意を表します。また、中田先生にもご同行いただきましてありがとうございました。私も含めて山陰海岸ジオパークのスタッフは相当緊張感を持ってお二人をお迎えいたしましたけれども、お二人のフランクでフレンドリーなお人柄に皆さん励まされて、リラックスをして、一緒に対話を楽しむことができたと思います。今評価を聞いて大変心強く思います。山陰海岸ジオパークのチームのメンバーを大変誇りに思います。これから更に力を合わせて、この山陰海岸ジオパークがさらに輝くジオパークになるよう努力して参ります。いただいた提案についてもしっかりと受け止めて対応して参ります。

山陰海岸ジオパークはあまりに広くて大きくて、非常に多様性があるので、どのように一体性を保つかという大きな課題を持っておりました。でも多様性こそが私達の強みでございますので、これをしっかりと守りながらコミュニケーションと対話を通じて全体の一体性を作り上げていきたいと思っております。優れた教師というのは本人にやる気を起こさせる教師だと思いますけれども、お二人はまったくそのとおりだと思います。私自身はコウノトリのところだけの説明でしたけれども、この取り組みが国境を越えて共感を呼ぶという、そういう実感を覚えました。こういった共感こそが繋がっていく原動力だと思いますので、更に世界中のジオパークと共感を持って繋がりながらその一員として活動して参ります。どうもありがとうございました。

## 【質疑応答】

それでは質問をお受けしたいと思います。ただ、審査の結果につきましては今年9月の8日～9日にイタリアで開催されますユネスコ世界ジオパークカOUNシルで議論され、決定される見込みになっております。発表日は未定で、年明けの可能性もあります。この場で審査員に再認定されるかというようなご質問はご遠慮いただけたらと思います。

**Q.1** ご自身の国に帰られた際にどういう風に山陰海岸ジオパークを紹介されますか。

**A.1** (リバス審査員)

私の友人や同僚や家族に山陰海岸 UGGp をお勧めしたいと思います。何度も訪ねる場所で、より深く知識を深めたいと思う場所だと思いました。1つのサイトが国際的価値があるからだけではなくて、私が受けた暖かいおもてなしを思い出して伝えたいと思います。

私自身、地質学者で玄武洞公園に行くというのは非常に興味深いことでした。日本でコウノトリの野生への復帰が実現している土地でそれを見ることができたのも幸せなことです。こういった感動体験というのは世界中の方々と共有すべきだと思います。少しの時間しかないので、全部はあげられませんけれどもたくさんの感動を体験することができました。

**Q.2** 山陰海岸は他の世界のジオパークと比べてどこが良かったですか。

**A.2** (リバス審査員)

ユネスコ世界ジオパークのそれぞれを見たときに、どれがいいか、どれが劣るかという考え方はしません。ユネスコ世界ジオパークというのは成功の場、達成の場と考えております。山陰海岸で達成された成功例というのは世界のユネスコジオパークにとっての成功例です。山陰海岸での最高の成功は、世界に共有することです。

とても感動したお話がありました。余部鉄橋に行った時に、その鉄橋が建てられた当時、2年を掛けて毎日毎日子供たちが駅の基盤となる石を下から上まで運んだという話を聞いて、とても感動しました。これこそがジオパーク成功の事例だと思います。ジオパークの成功例はボトムアップ、下から上へという動きであることが多いです。山陰海岸 UGGp にはこのような宝がもっと沢山、私が知らないだけで沢山あると思います。また戻ってきて、このような成功事例を見つけていきたいと思います。

**Q.3** プロモーションについて伺いたい。世界へのプロモーションはこの辺の1地方自治体ができることではない。高い評価はリップサービスでないと願っております。

**A.3** (リバス審査員)

山陰海岸の国際的な価値を世界レベルで共有するという質問について、既に活動が始まっているもののなかで、姉妹ジオパーク、レスボス島との交流があります。例えば、他の世界ジオパークのメンバーとレスボスとの交流、姉妹ジオパークのような関係を構築する

という意見を提示しました。また、こちらで行われている数々の活動の様子を世界ジオパークのウェブサイトに掲載するといった方法があります。様々なマップ、刊行物においても世界的に共有することで、ここにある世界的な価値のあるものが世界に知られるようになると思います。大きな例だけではなくて、もっと細かな小さなことから始めることも出来ると思います。そしてUGGNの観点からいきますと大きな成功を共有しあうのは勿論ですけれども、地元レベルでの成功、もっと細かな1つ1つの小さな事例を共有しあうというのも重要です。

(ルー審査員)

リバスさんがおっしゃったことに全く同意です。

Q.4 パブロさんが話された中で、サイト内に住む人に、再認定によって大きな利益がもたらされるとおっしゃられた。もう少し具体的にお話をいただければと思います。

A.4 (リバス審査員)

UGGpの成果・利益は、ジオツーリズムを通して利益になることを指している。そして、単に訪問者数を伸ばすだけでなく、訪問される方の体験度、満足度を拡大することが大切です。すでに、いくつか提案しているが、それらを実現することで、外国人の訪問者がより増えることになると思います。付け加えたいのですが、利益という単語を使うときに、経済的な利益が浮かぶと思いますが、利益の中には目に見えないけど重要な利益があります。例えば地方自治体すべてに言えることですが、帰属感、ここの土地に所属して誇りを持つということも利益の例だだと思います。そして、地元や地元を代表する方々が、地元を愛することが重要だと思います。そして、地元の方がそうであれば、訪問する方々も同じようになると思います。この山陰海岸 UGGp でなければ体験できない体験を提供することで人々は山陰海岸ジオパークを訪れることになると思います。

Q.5 4年前の審査の時に何点か改善点が挙げられたと思いますが、それに対する審査員の方々の評価に関して。

A5. (リバス審査員)

再審査にあたり過去の改善点の確認を行いました。非常に満足のできる形で達成されています。UGGp で完璧なジオパークは存在しません。たとえ世界最高のジオパークだといわれていても、そのジオパークでもさらに改善の余地があるという考え方を私たちはしています。そして、ジオパークは人々によって構成されています。だから、いい時もあれば悪い時もあります、その習慣だとか生活だとか、いろいろな条件によってアップダウンがあるけれども、困ったときには UGGp のネットワークが支援をする、また、その支援の一助として再審査のようなプロセスがあるということを感じています。

Q.6 ルー審査員にお聞きします。鳥取砂丘のことで提案があったのですが、どのような期待

が持てるのか、もう少し細かく教えていただけたらと思います。

#### A.6 (ルー審査員)

初めての日に砂丘を見させていただいたのですが、素晴らしく美しい景色で、中国の敦煌（トンコウ）というところが頭に浮かびました。学術的に、例えば砂丘が毎年何メートル移動するか、どういう植物が生えているか、住民の方々がどういう工夫をされて保護をされているか、古い気候がどういう風に変化しているか、それをもうちょっと学術的に説明があったほうが観光客の興味が深くなるのではないかと思います。それと昔の気候から今の気候の変化、昔の植物と今の生えている植物の変化や植物の栽培に関する研究が進んでいること、そういう情報ももうちょっと欲しいと思います。気候の変化によって作る植物の種類の変化とか砂丘独特に作っている優れた品種とかがあると、砂丘の観光の面ではとてもプラスになるのではないかと思います。

ジオパーク通じた一つの目的としては地元の経済の発展につながるというのも一つの目的で、砂丘をうまく活用して、観光業で観光客が増えて、研究の面でも進んで、現地の経済にプラスになるのではないかと私は思っております。

視察のときにも、少し情報をいただいたのですが、すでに鳥取大学は、乾燥地センターがあって砂丘について研究しています。それをもっともっと世界に広げて、研究がもっともっと進んでいただけたら、学術的にも価値があるのではないかと、私は思っています。